

バンキシャ野添隊員が行く！ 第2回

～地域おこし協力隊コーナー～

広報業務支援員である野添博雅（のぞえ・ひろまさ）隊員が地域おこし協力隊の活動内容や、協力隊の視点で余市町の魅力を伝えるコーナーです。

● 靱木勝巳（もみき・かつみ） 隊員



先月から始まった地域おこし協力隊の活動内容等を紹介するコーナー。第2回は観光協会支援員の靱木勝巳隊員に、余市町の魅力や観光面の課題について聞きました。

宮崎県出身の靱木隊員は、東京のレコード会社や宮崎県川南町商工会での勤務を経て、3年前の令和2年4月に余市町地域おこし協力隊として着任。現在は余市観光協会で余市町の「食」をテーマとした観光PRに取り組んでいて、余市紅志高校の生徒と協力して開発した「ソーラン玉」など余市町の食材を使った土産物品の企画も行っています。

Q：余市町の魅力は？

やっぱり食べ物ですね。海があって山があって、海産物や果物など食材が豊富。宮崎ではあまり見かけない「サクランボ」や「リンゴ」とかおいしいから、いろいろ食べるようになりました。それと、札幌から1時間という都市部への近さも魅力です。

Q：「食」の魅力を実感したエピソードは？

昨年、さっぽろテレビ塔で余市産サクランボを販売したときは行列ができて、2日とも数時間で合計280パック売れる好評ぶりに驚きました。また、鹿児島県のデパートで開催された北海道物産展に持っていったアップルパイ5000個以上が完売。焼くのが追いつかず休むひまが無いほどで、うれしい悲鳴をあげました。今年も出店予定で、昨年以上の数を準備しています。

Q：観光面の課題は？

広報PRが苦手なことが気になります。地域おこし協力隊の活動費を使ってHTBにYoutube動画制作を依頼し、テレビやネットニュースで取り上げてもらったところ、動画内で紹介した「よいちりんごケーキ」の売上はおみやげお菓子NO. 1となりました。各メディアに無料で紹介してもらう場合だと、公開時期や取り上げる商品は相手次第になってしまいます。しっかり広告予算を使って効果的なPRを行うことが観光振興につながると思います。

動画



問合せ 政策推進課 広報統計係 ☎21-2117



9月は、アルツハイマー月間（認知症月間）です 図書館と認知症関連コラボイベントを開催します！

町では、9月のアルツハイマー月間に合わせて、図書館と共同で認知症関連イベントを開催します。この機会に認知症について学んでみませんか？

○映画鑑賞会：9月8日（金）午後1時～2時40分（要予約）

ドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」

認知症の母と老老介護する父の暮らしを記録したドキュメンタリー映画です。

○“認知症の人を支える家族の会”の集い：9月19日（火）午後1時30分～3時30分

誰かに話したい！聞いてほしい！介護経験者とお話しませんか。

○介護・認知症の相談会：9月8日（金）午後2時40分～4時

9月19日（火）午後1時30分～3時30分

物忘れや認知症、介護などに関する相談を保健師等がお受けします。

○認知症サポーター養成講座：9月9日（土）午前10時30分～12時（要予約）

※5人未満の場合は中止になる場合があります

認知症について理解者を増やす取組として実施します。この機会に受講してみませんか。

※上記の開催場所は、余市町図書館です。お気軽にお越しください。

問合せ・申込み 保険課 介護保険係 ☎21-2119